

あなたのやっていること、実は、環境大臣賞候補です。

第7回 グッドライフアワード表彰内容

環境大臣賞 総合賞



環境大臣賞 最優秀賞 (1取組)

副賞：記念品、表彰状贈呈／
取材ページ・プロモーションビデオの制作・公開



環境大臣賞 優秀賞 (3取組)

副賞：記念品、表彰状贈呈／
取材ページ・プロモーションビデオの制作・公開

環境大臣賞 部門賞

実施主体別に優れた取組を選んで表彰します。(各1 取組程度 副賞：表彰状贈呈／取材ページ・プロモーションビデオの制作・公開)



企業部門

CSRから製品・サービスまで。
企業が実施する取組。



学校部門

小学校から大学まで。
サークルなどでの取組でもOK。



NPO・任意団体部門

継続的な取組からイベントまで。
団体が実施する取組。



自治体部門

都道府県や市町村が
中心となって実施する取組。



地域コミュニティ部門

地域のグループなどが
中心となって実施する取組。



個人部門

家庭や個人で行っている
環境と社会により取組。

実行委員会特別賞

実行委員の専門分野などに関わるテーマごとに、優れた取組を選んで表彰します。



サステナブルデザイン賞

益田文和 実行委員長
(デザインコンサルタント)

サステナブル(持続可能)な新しい暮らし方をデザインする取組を表彰します。



子どもと親子のエコ未来賞

大葉ナナコ 実行委員
(公益社団法人 誕生学協会代表理事・パースコーディネーター)

子どもは未来のオトナたち！ハッピーな地球の未来、エコな社会をめざす子どもや親子の取組を表彰します。



エシカル賞

末吉里花 実行委員
(一般社団法人 エシカル協会代表理事、フリーアナウンサー)

環境だけでなく、人や社会、地域に思いやりのある「エシカル」な取組を表彰します。



環境と福祉賞

炭谷茂 実行委員
(社会福祉法人 恩賜財団済生会 理事長)

福祉の向上とともに、エコロジーな社会づくりにも貢献する取組を表彰します。



環境地域ブランディング賞

高橋俊宏 実行委員
(株式会社ディスカバー・ジャパン 取締役 編集長)

地域の知恵や考え方を大切にした取組を表彰します。



森里川海賞

中井徳太郎 実行委員
(環境省 総合環境政策統括官)

森里川海とそのつながりを豊かに保ち、その恵みを引き出す取組や、一人ひとりが森里川海の恵みを支える社会づくりに貢献する取組を表彰します。



環境社会イノベーション賞

藤野純一 実行委員
(公益財団法人 地球環境戦略研究機関 上席研究員)

環境保全に貢献しつつ、優れた社会イノベーションを実現する取組を表彰します。



環境アート&デザイン賞

南谷えり子 実行委員
(元エルジャポン編集長)

自由な発想とアイデアにあふれ、遊び心のある環境保護の取組を表彰します。



SDGsビジネス賞

森 摂 実行委員
(オルタナ編集長)

SDGs「アウトサイドイン」の思考に基づき、社会課題の解決を起点にしたビジネスの取組を表彰します。



総合プロデューサー

谷中修吾 氏
(BBT大学グローバル経営学科長・教授、
一般社団法人INSPIRE 代表理事)

アワードの受賞は、活動を知ってもらって、社会にインパクトを広げるチャンスです！

【地域循環共生圏について】

「地域循環共生圏」は、各地域がその特性を活かした強みを発揮し、地域ごとに異なる資源(自然、人材、資金など)が循環する自立・分散型の社会を形成しつつ、地域の特性に応じた様々な資源を補完し支え合う考え方です。各地域において新たなバリューチェーンを生み出し、農山漁村も都市も生かしながら、我が国の地域の活力を最大限に発揮することを目指します。

募集対象 環境と社会により暮らしを実現するための活動に取り組む
日本国内の各種団体、企業、個人。

●応募方法 グッドライフアワード公式サイト専用フォームによりご応募ください。

●応募締め切り 2019年9月17日(火)

●応募先・お問い合わせ info@goodlifeaward.jp
03-6804-3858 (9:30～17:30)

選考スケジュール

9月17日(火).....応募締切

11月中旬.....各賞発表

11月30日(土).....表彰式

グッドライフアワード公式サイト 検索 または <http://www.goodlifeaward.jp>

あなたのエントリー、お待ちしております！



社会をよくする取組を 環境大臣賞として表彰します

第7回

環境省 グッドライフアワード

[対象] 企業・学校・NPO・自治体・地域・個人

応募
受付中

締切 2019年
9月17日





環境大臣賞「最優秀賞」を受賞した取組



第6回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞
特定非営利活動法人ゼロ・ウェストアカデミー

徳島県の山あいの小さな町・上勝町では、日本で初めて2020年に町全体でごみをゼロにする「ゼロ・ウェスト」を宣言。生ゴミはすべて自宅のコンポストで処理。それ以外のごみを徹底的に分別し回収するごみステーションは住民の集まるコミュニケーションの場に進化しています。



第5回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞
株式会社パン・アキモト

栃木県那須塩原市のパン屋さんが、災害時の備蓄食となる賞味期限3年の「パンの缶詰」を開発。賞味期限が残り1年になると回収して無償で国内外の災害被災地や、食糧難問題を抱える国や地域に届ける「救済鳥プロジェクト」を展開しています。



第4回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞
一般社団法人農福連携自然栽培パーティ全国協議会

自然栽培とは、農薬や肥料、除草剤などを一切使わない農法のこと。米や野菜、果実など、工作放棄地で付加価値の高い作物をつくり、障がい者の雇用を生み出す取組です。受賞後、連携する施設が急増中。農福連携のネットワークが広がっています。



第2回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞
あきた森の宅配便

地元の高齢者を中心とした「山の名人」が、注文に応じて天然山菜を採取。全国に届けるサービスです。受賞後、テレビをはじめ多くのメディアからの取材が激増。天然なもので採れる量には限りがありますが、応援してくれるユーザー（秋田の山菜ファン）が増えました。



第3回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞
チーム美らサンゴ

地元漁協や企業などが連携。沖縄県恩納村で、ダイビングなどを楽しみながら養殖したサンゴを植え付けるイベントを定期的に開催し、海水温上昇でダメージを受けたサンゴの再生に取り組んでいます。受賞後、協賛企業が増えるなど活動の幅がさらに広がっています。



第1回グッドライフアワード環境大臣賞最優秀賞受賞
三陸ボランティアダイバーズ

岩手県大船渡市などを中心に、海底の震災がれき撤去作業などのボランティア活動を行っています。環境大臣賞受賞によって地元漁協との信頼関係が深まり、特産のホタテをいただけるレストランの運営など、さらに社会を元気にする取組へと発展しつつあります。



企業、学校、NPO、自治体、地域コミュニティ、個人… 多彩な顔ぶれが、環境大臣賞を受賞しています。

グッドライフアワードは、日本発のSDGs 構想として環境省が提唱している「地域循環共生圏」の考え方にに基づき、地域の活力を最大限に発揮し、環境と社会に良いグラスルーツの活動を応援するプロジェクトです。
未来をつくるグッドライフな取組を「環境大臣賞」として表彰し、ライフスタイルのイノベーションを目指します。



地域移住体験を「おばあちゃんの栗山」の保全に組合せ、民泊活性化にもつなげる！

熊本県菊池市

人手が足りない栗山と、移住体験を組み合わせ、都市部の若者がおばあちゃんの栗拾いをサポートしながら地域を体験。民泊を活性化して、地域を創生しています。



自然エネルギーで持続可能な暮らしを目指して里山と耕作放棄地を若者たちが開墾！

楠クリーン村

耕作放棄地を若者が開墾して移住。自分たちで家を建て、自然エネルギーを自給して共同生活を営みながら、お茶や野菜、ブルーベリーなどを栽培しています。



里山の森で子どもを育む幼稚園をつくり、移住者の増加を促して地域活性化にも貢献！

智頭町森のようちえん まるたんぼう

森や川など野外のフィールドを活用し、のびのびと子どもたちを育む「森のようちえん」。行政とも連携して、着実な取組を実践しています。



官民が連携して自治体新電力を設立、再生可能エネルギーの地産地消を推進！

ローカルエナジー株式会社・鳥取県米子市

自治体と地元の企業が連携して、再生可能エネルギーによるエネルギーの地産地消に取り組み、安定したエネルギー供給を実現しています。環境と経済の両面で地域活性化に貢献しています。



東京で新しい林業を目指し木のある暮らしと森の価値を発信！

株式会社東京チェンソーズ

平均年齢30歳代前半の若者が集結。会員制森林育成体験プログラムなど、東京の木でつくられた製品を増やし、森林の価値を高める取組を行っています。



廃棄食品をネットで消費者とマッチング、社会貢献型フードシェアリングプラットフォーム「KURADASHI.jp」

グラウクス株式会社 住友商事株式会社

商社と連携し廃棄されてしまう食品を、インターネットを活用して迅速に消費者ニーズとマッチングさせることで、フードロスを大幅に削減する仕組みを展開しています。



海でカヤック。自転車、そして自分の足で山頂へ。大自然を感じるスポーツイベントを各地で実施！

SEA TO SUMMIT 連絡協議会

モンベルが提唱して開催されている、海や湖をカヤックで進み、自転車で里を駆け抜け、登山で山頂を目指す、自然のフィールドを活用したスポーツイベント。



里山の森を知り、森を守る取組として、若者たちが間伐などの作業を実践！

緑のダム北相模

相模湖畔（神奈川県）の森で、荒廃する人工林を整備するボランティア活動。中学生や高校生（OBの若者たちも）が、間伐などの作業を行っています。



お寺の「おそなえ」を「おさがり」として困窮家庭に「おすそわけ」しています！

特定非営利活動法人 おてらおやつクラブ

全国約1200の寺院がネットワークして、お寺に集まる「おそなえ」を、子ども食堂や学習支援団体、経済的に困難な状況にある家庭などへ「おすそわけ」。活動はさらに大きく広がっています。



森の恵みを実感、未来の地球を考える講座で、「東京の野生児」を育む！

土屋 一昭

葉っぱや木のかけらといった身近な自然の材料で「未来の地球を作る」など、都会の子もたちを「野生児」として育むための着実な取組を続けています。



奈良県生駒市の市民が出資して市の施設に太陽光発電所を設置！

一般社団法人市民エネルギー生駒

市民が中心となってファンドで出資を集め、行政との連携で私有地などに太陽光発電所を設置する取組です。3カ所が完成し、さらなる設置を目指して活動中。



持ち寄った生ごみから作ったたい肥で大根を育て段ボールコンポストの「循環」を体感

八王子市立武分方小学校

小学校4年生の全員が、各家庭から生ごみを持ち寄り段ボールコンポストでたい肥を作り、畑で大根などを育てて食べ「循環」を学ぶ環境学習です。

グッドライフアワードの受賞取組は、環境白書や環境省のPR誌でも数多く紹介されています。